

第11回
東京都水道事業運営戦略検討会議
参考資料

令和2年11月17日

目次

1	東京水道を取り巻く状況の変化（中小工事業者の減少） . . .	3
2	水道工事に関するアンケート実施概要	4
3	水道工事（配管工事）に関するアンケート	5
4	水道工事（給水装置工事）に関するアンケート	12

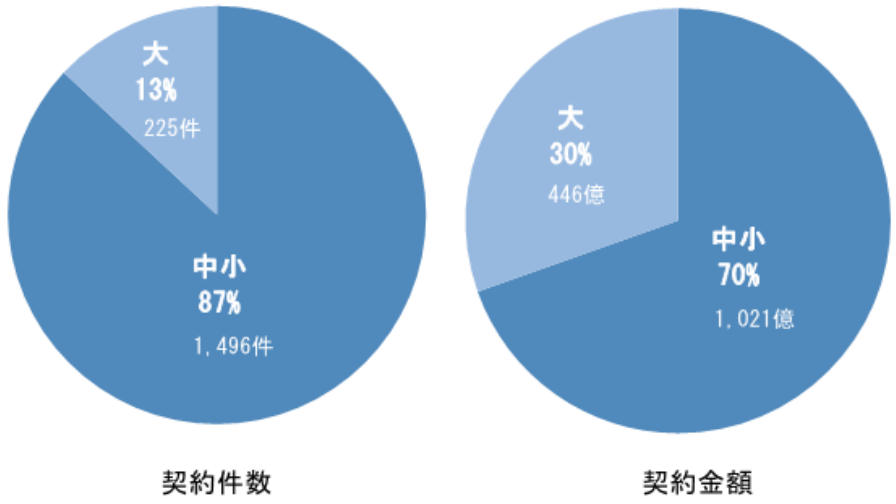
2 東京水道を取り巻く状況の変化③

第2章 水道事業を取り巻く状況の変化

(3) 中小工事業者の減少

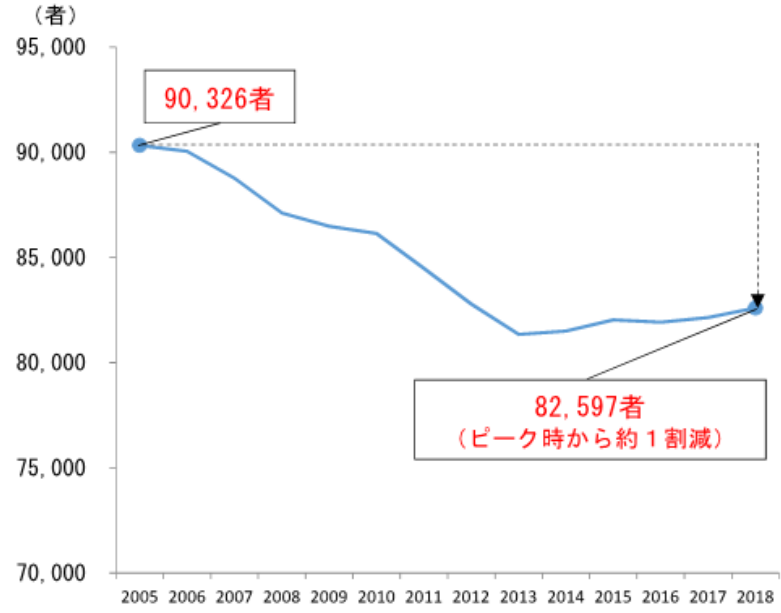
○中小工事業者との契約の割合が、件数・金額いずれも過半を占めており、水道を支える存在
しかし、高齢化の進行等による就業者の減少などにより、工事業者数が減少している
（全国の水道施設工事業者数で見ると、ピーク時から約1割減少）

<工事契約の件数・金額>



2017年度実績

<水道施設工事業者数の推移>



各年3月末現在（国土交通省公表資料より作成）

水道工事に関するアンケート実施概要

		当局発注工事事業者		指定事業者
		総価契約	単価契約	
対象		平成30・31年度に契約した案件		令和2年6月末において指定している事業者
登録(※1)(指定)全事業者数		5,467者(※1) (令和2年6月1日時点)		5,994者 (令和2年6月末時点)
調査時期		令和2年7月		令和2年7月
調査方法		事業者に郵送でアンケートを送付 郵送またはメールで回収		事業者に郵送でアンケートを送付 郵送で回収
内容		<ul style="list-style-type: none"> ・会社の現状 ・施工上の課題 ・当局への要望 		<ul style="list-style-type: none"> ・会社の現状 ・技術力(現場対応力)の確保・向上 ・経営の安定
調査数	発送数	961	528	5,506(※2)
	回答数	670	376	2,452
	回答率	69.7%	71.2%	44.5%

※1 水道施設工事、一般土木工事、シールド工事、推進工事に登録している事業者数

※2 不着分を除く

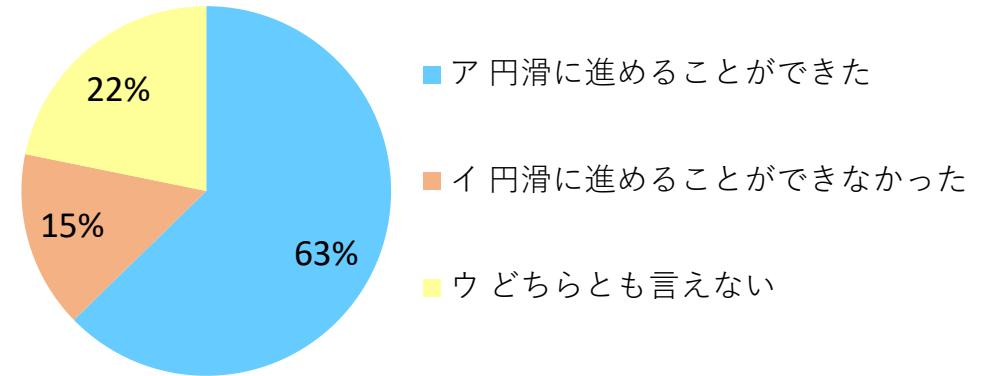
水道工事（配管工事）に関するアンケート

【施工上の課題】

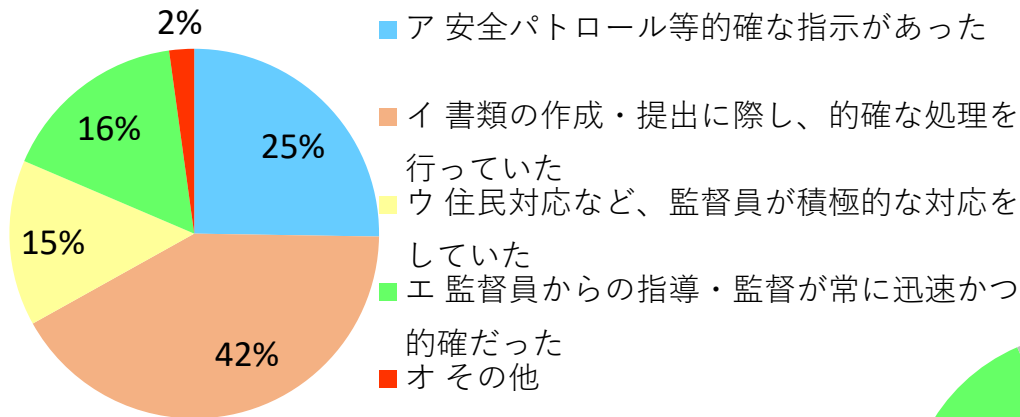
○局の監督体制(Q2)

- ・「円滑に進めることができた」と回答した事業者は**63%**
- ・「円滑に進めることができなかった」と回答した事業者は**15%**

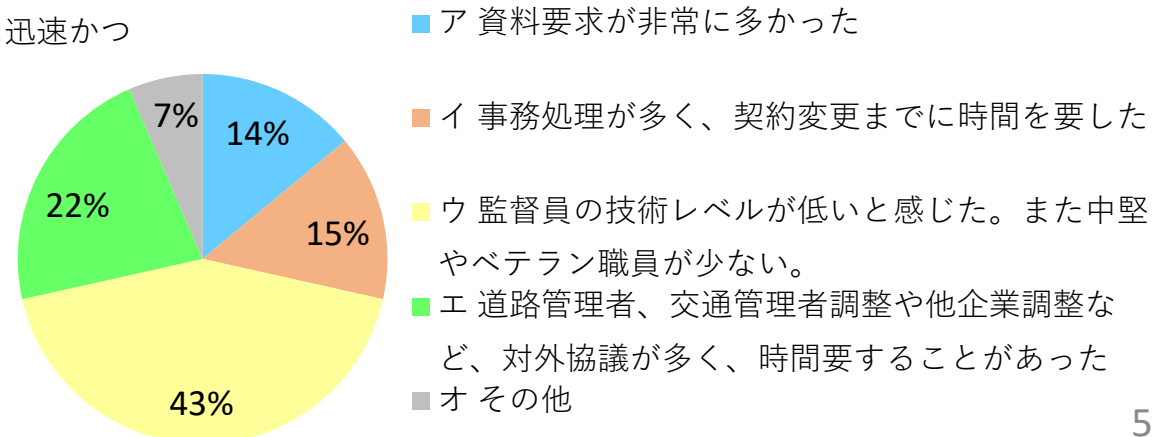
局の監督体制



円滑に進めることができた理由



円滑に進めることができなかった理由



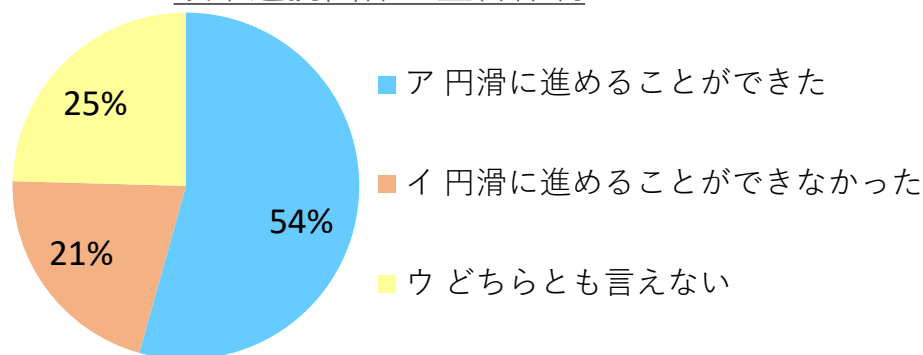
水道工事（配管工事）に関するアンケート

【施工上の課題】

○政策連携団体の監督体制(Q2')

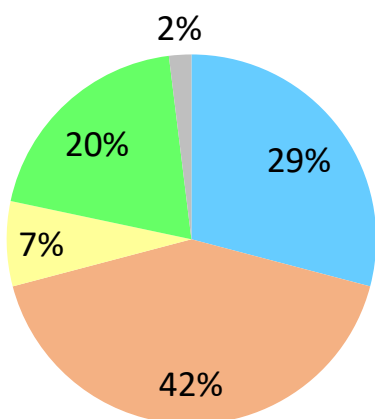
- ・「円滑に進めることができた」と回答した事業者は54%
- ・「円滑に進めることができなかった」と回答した事業者は21%

政策連携団体の監督体制



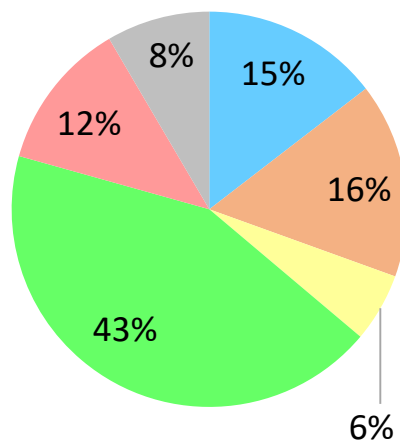
円滑に進めることができた理由

- ア 安全パトロール等の確な指示があった
- イ 書類の作成・提出に際し、的確な処理を行っていた
- ウ 住民対応など、監督員が積極的な対応をしていた
- エ 監督員からの指導・監督が常に迅速かつ的確だった
- オ その他



円滑に進めることができなかった理由

- ア 局と政策連携団体の責任区分が曖昧
- イ 資料要求が非常に多かった
- ウ 事務処理が多く、契約変更までに時間を要した
- エ 監督員の技術レベルが低いと感じた。また中堅やベテラン職員が少ない。
- オ 道路管理者、交通管理者調整や他企業調整など、対外協議が多く、時間要することがあった
- カ その他



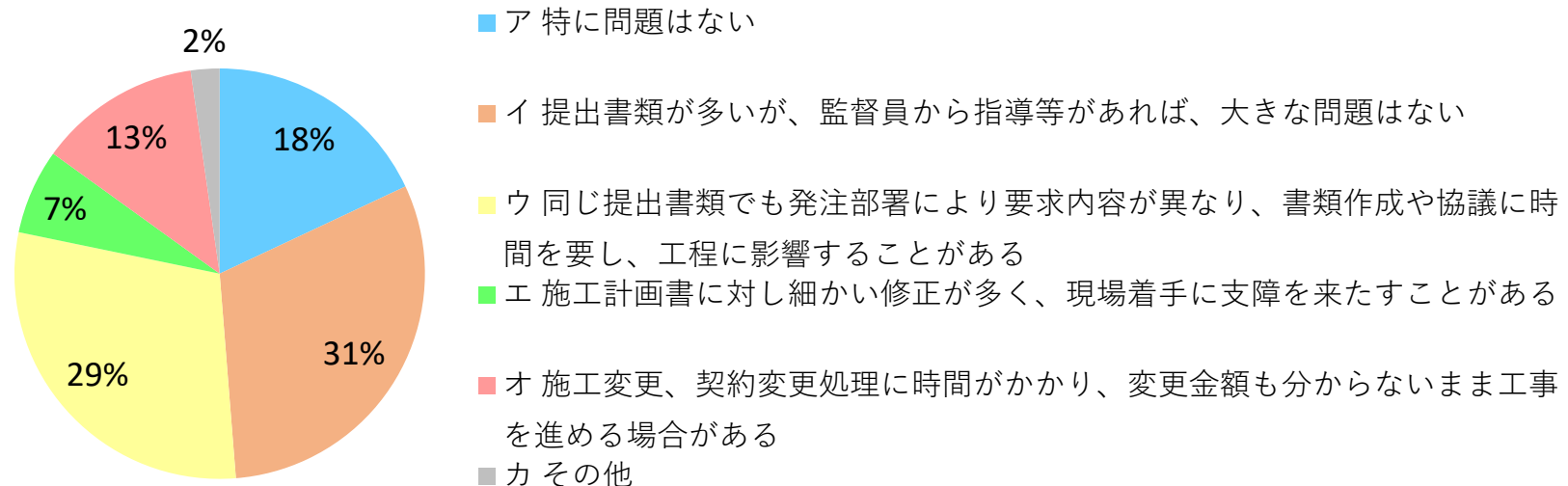
水道工事（配管工事）に関するアンケート

【施工上の課題】

○書類の提出及び事務手続き(Q3)

- ・「特に問題はない」「提出書類が多いが、監督員から指導等があれば、大きな問題はない」と回答している事業者は49%
- ・「同じ提出書類でも発注部署により要求内容が異なり、書類作成や協議に時間を要し、工程に影響することがある」と回答している事業者は29%

書類の手続き及び事務手続き

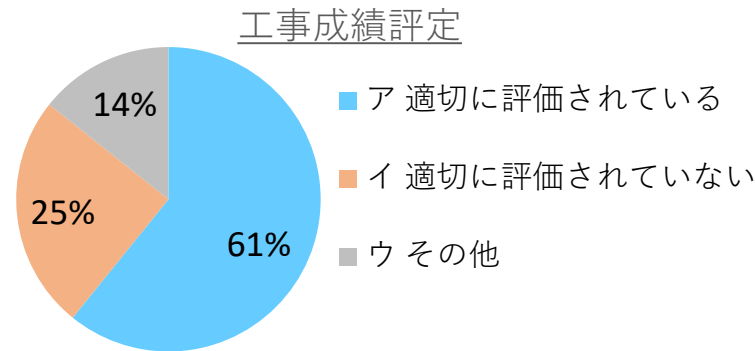


水道工事（配管工事）に関するアンケート

【施工上の課題】

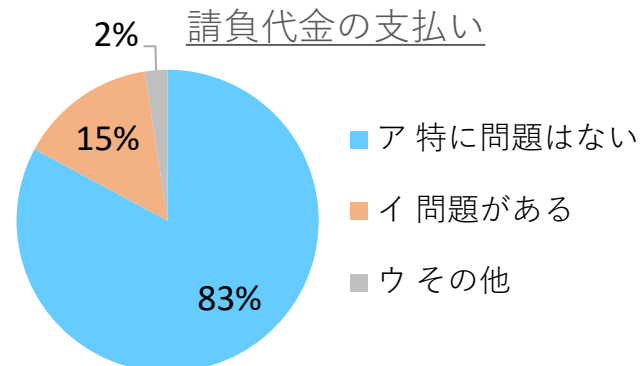
○工事成績評価（Q4）

- ・「適切に評価されている」と回答している事業者は61%



○請負代金の支払い（Q5）

- ・「特に問題ない」と回答している事業者は83%



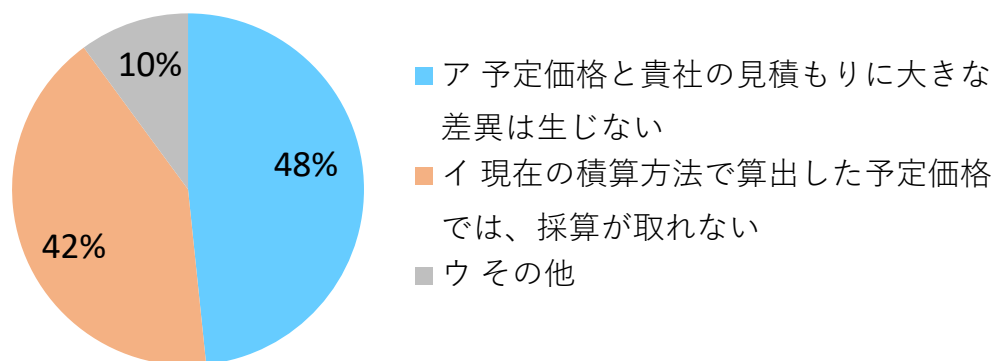
水道工事（配管工事）に関するアンケート

【施工上の課題】

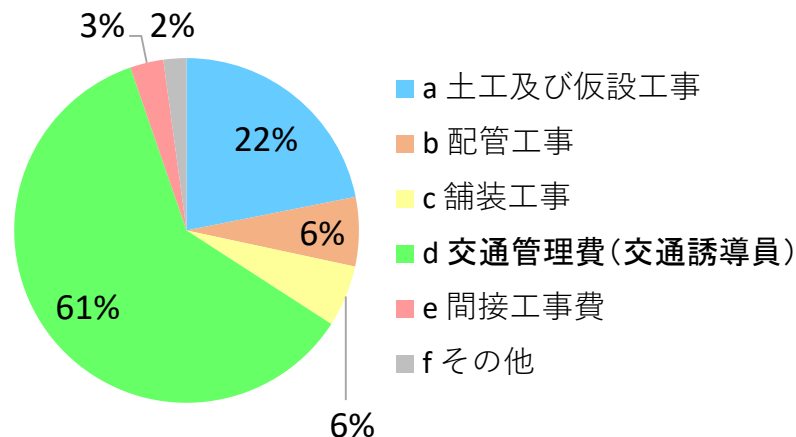
○予定価格 (Q6)

- ・「予定価格と貴社の見積もりに大きな差異は生じない」と回答している事業者は48%
- ・「現在の積算方法で算出した予定価格では、採算が取れない」と回答している事業者は42%

予定価格



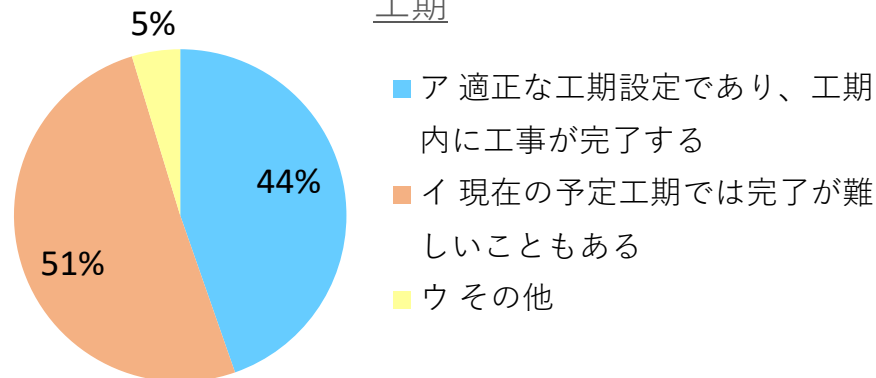
採算が合わない工種



○工期 (Q7)

- ・「適切な工期設定であり、工期内に工事が完了する」と回答している事業者は44%
- ・「現在の予定工期では完了が難しいこともある」と回答している事業者は51%

工期

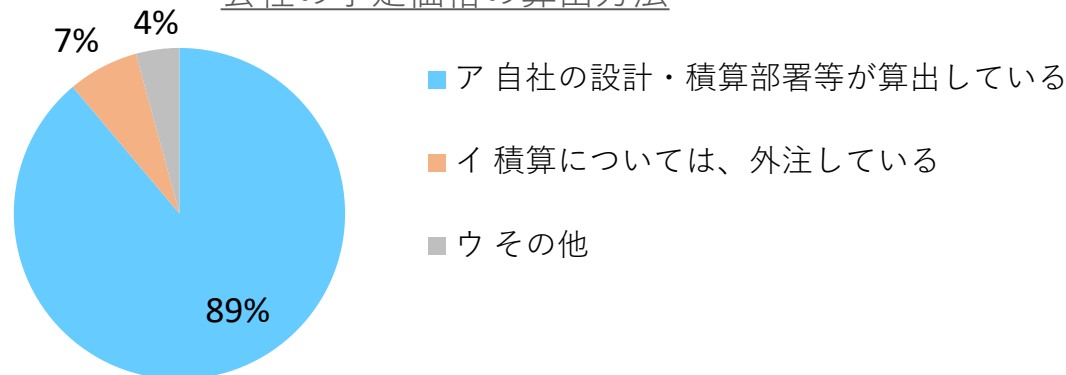


水道工事（配管工事）に関するアンケート

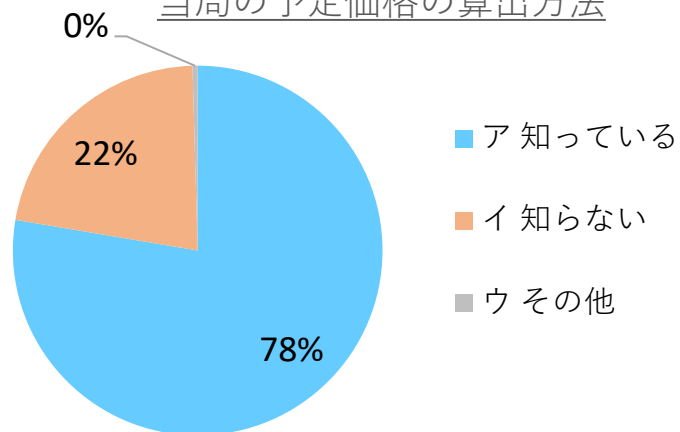
○ 予定価格の算出及び契約手続き(Q8)

・ 予定価格を「自社の設計・積算部署等が算出している」と回答した事業者は **89%**

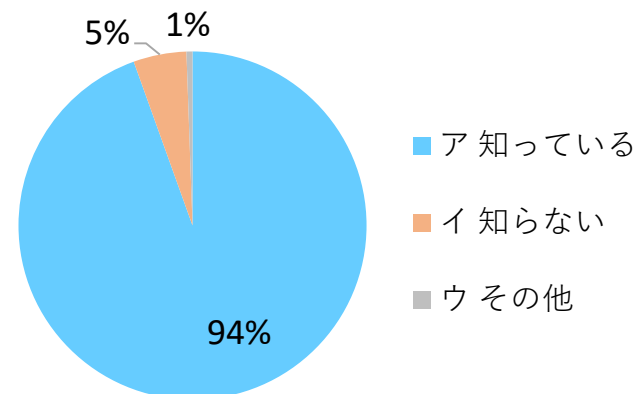
会社の予定価格の算出方法



当局の予定価格の算出方法



当局の設計変更の方法

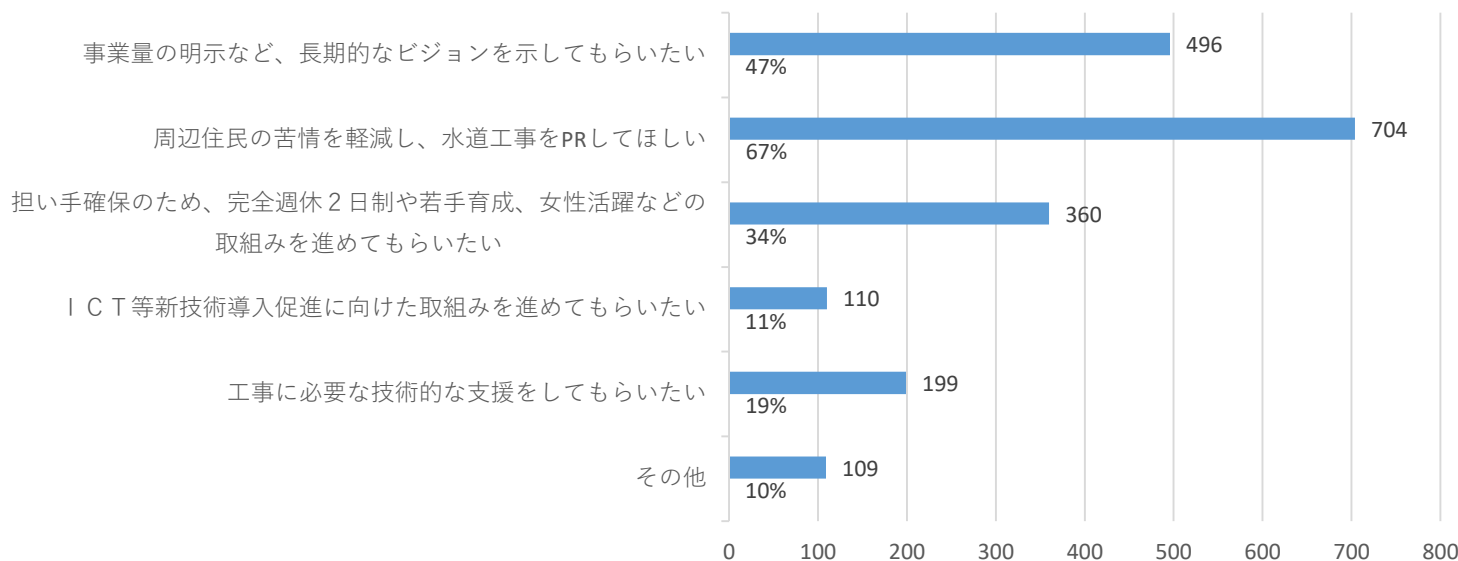


水道工事（配管工事）に関するアンケート

【当局への要望(Q9)】

- ・「周辺住民の苦情を軽減し、水道工事をPRしてほしい」と回答した事業者は67%
- ・「担い手確保のため、完全週休2日制や若手育成、女性活躍などの取組みを進めてもらいたい」と回答した事業者は34%
- ・「事業量の明示など、長期的なビジョンを示してもらいたい」と回答した事業者は47%

当局への要望



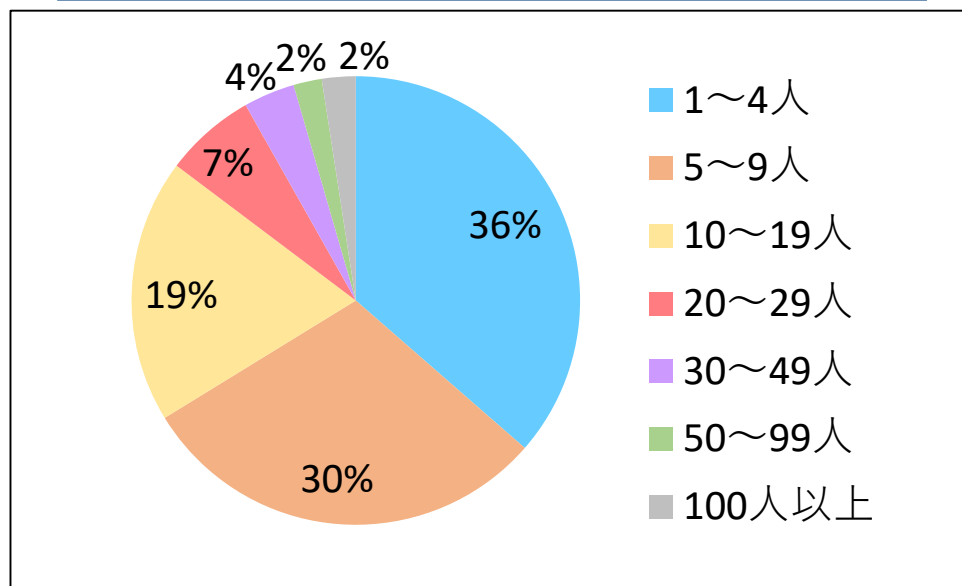
水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【会社の現状】

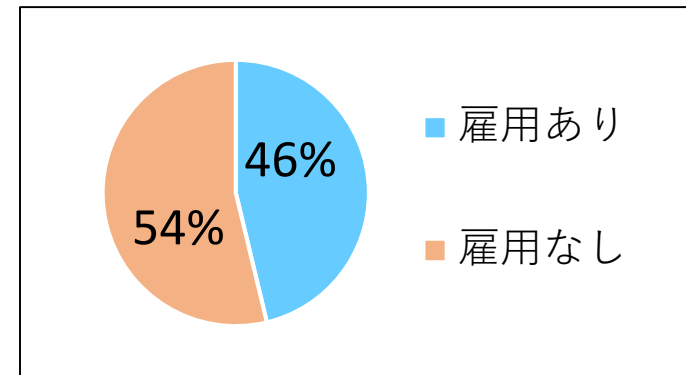
○規模(社員数)(Q1、Q2、Q3)

- ・ 10人未満(事業者の66%)、
10～50人未満(30%)、50人以上(4%)
- ・ 非正規雇用社員の雇用割合は事業者の46%
- ・ 外国人労働者の雇用割合は事業者の10%

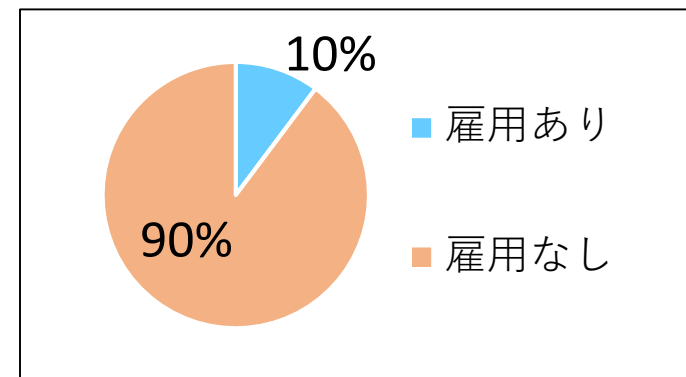
社員数



非正規雇用社員の雇用有無



外国人労働者の雇用有無



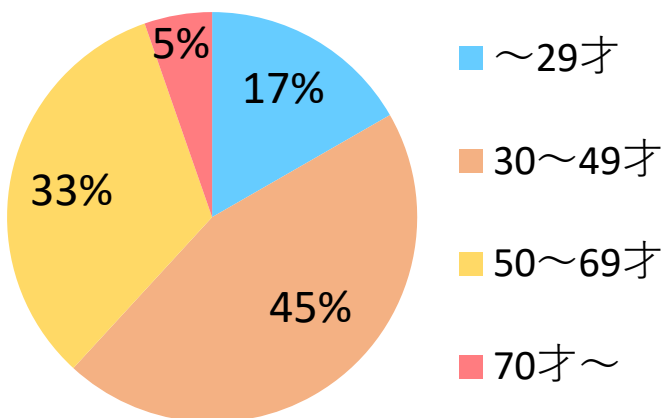
水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【会社の現状】

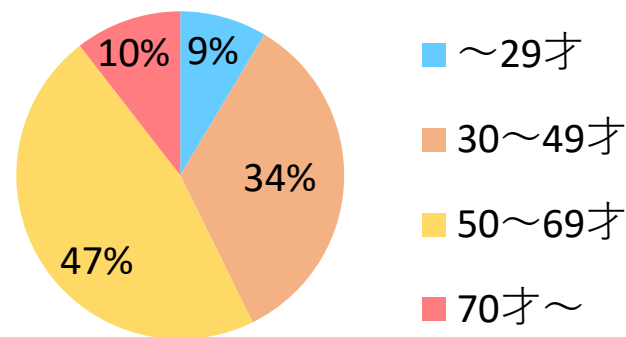
○年齢構成(Q1、Q2、Q3)

- ・30才未満(17%)、30～50才未満(45%)、50～70才未満(33%)、70才以上(5%)
- ・非正規雇用社員では、50～70才未満(47%)
- ・外国人労働者では、30才未満(59%)

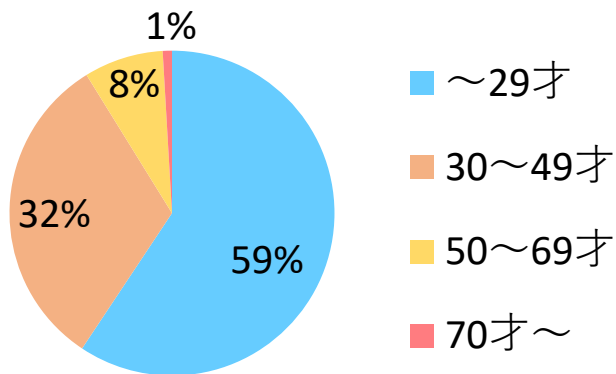
年齢構成



年齢構成(非正規)



年齢構成(外国人)



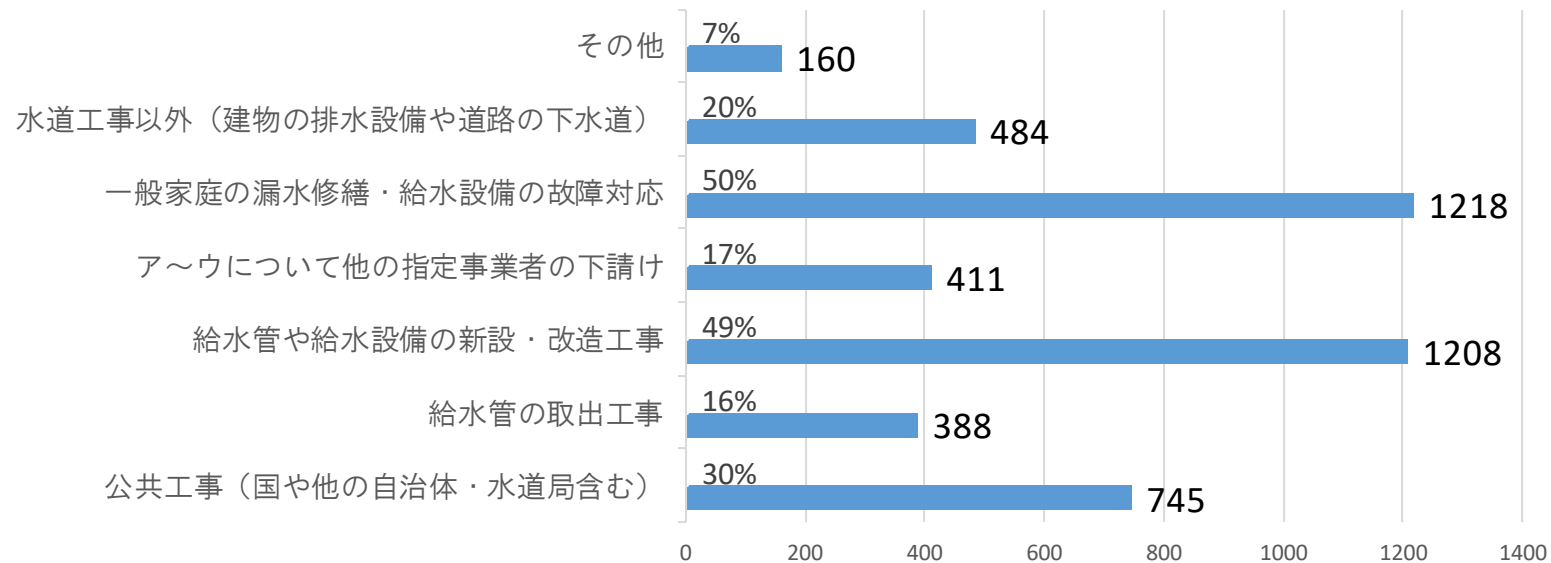
水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【会社の現状】

○工事受注状況(Q4)

(複数回答)
事業者数：2452
回答総数：4614

- ・一般家庭の漏水修繕・給水設備の故障対応(事業者の50%)
- ・指定事業者としての給水管や給水設備の新設・改造工事(49%)
- ・公共工事(30%)



※グラフのパーセンテージは事業者数に対する回答事業者数の割合

水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【会社の現状】

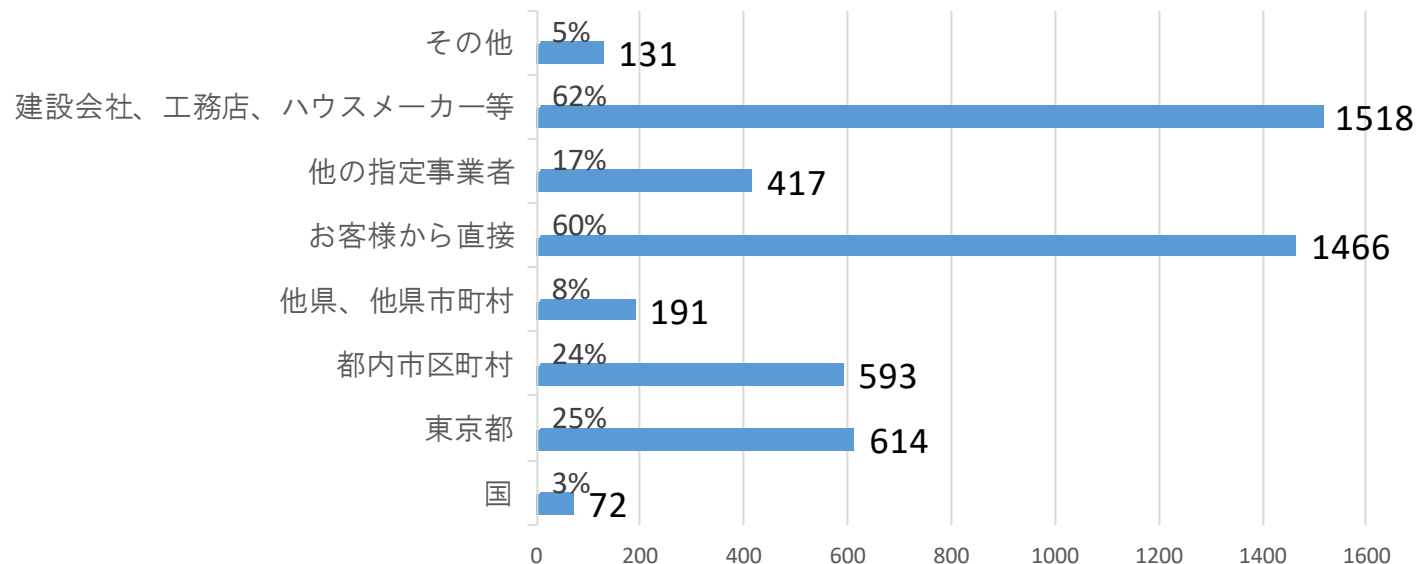
○工事受注状況：発注元(Q5)

- ・建設会社、工務店、ハウスメーカー等(事業者の62%)
- ・お客様から直接(60%)
- ・東京都(25%)、都内市区町村(24%)

(複数回答)

事業者数：2452

回答総数：5002



※グラフのパーセンテージは事業者数に対する回答事業者数の割合

水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

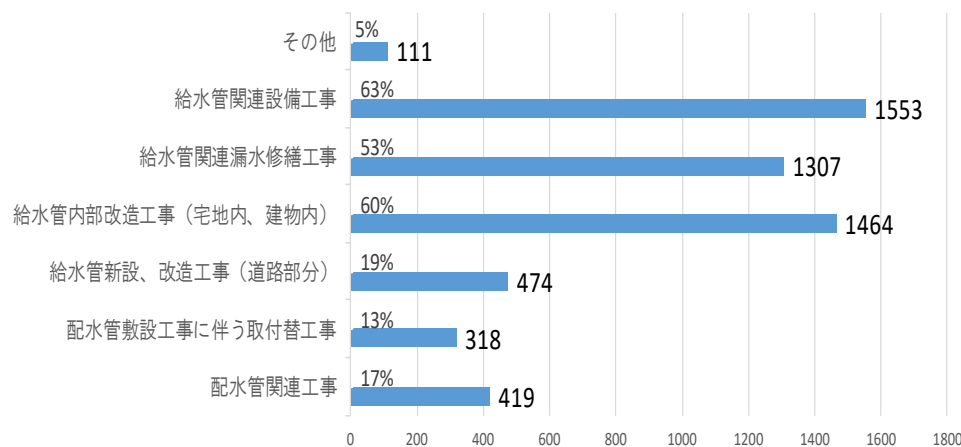
【会社の現状】

(複数回答)
事業者数：2452

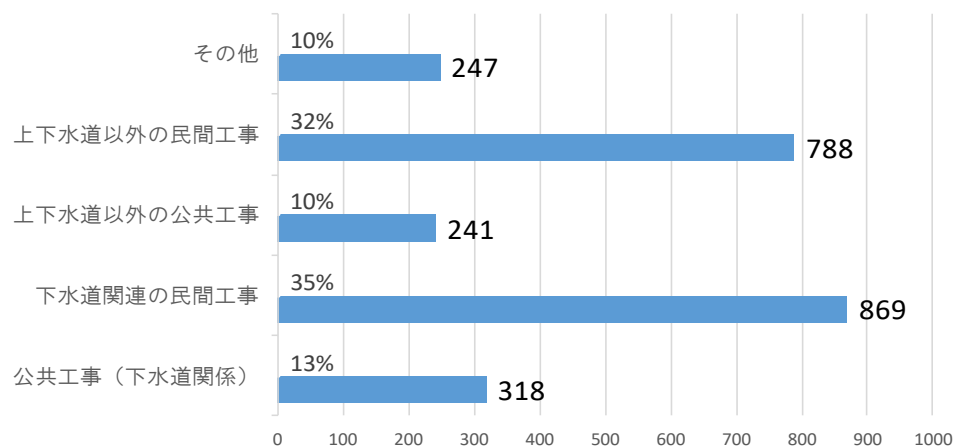
○工事受注状況：工事内容(Q6、7)

- ・水道工事では、給水管関連設備工事(事業者の63%)、内部改造工事(60%)、漏水修繕工事(53%)
- ・水道工事以外では、下水道関連民間工事(35%)、上下水道以外の民間工事(32%)

水道工事(回答総数:5646)



水道工事以外(2463)



※グラフのパーセンテージは事業者数に対する回答事業者数の割合

水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【会社の現状】

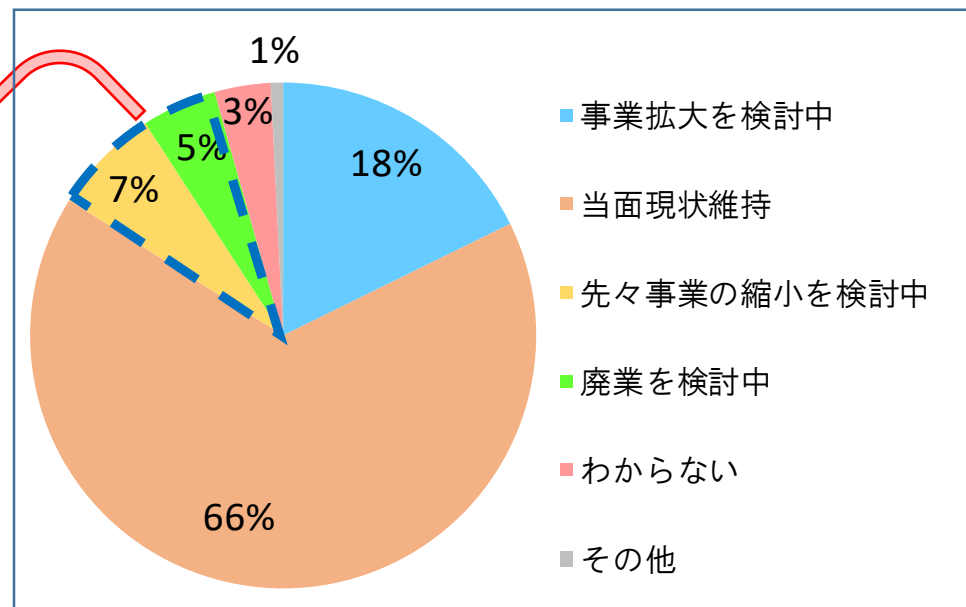
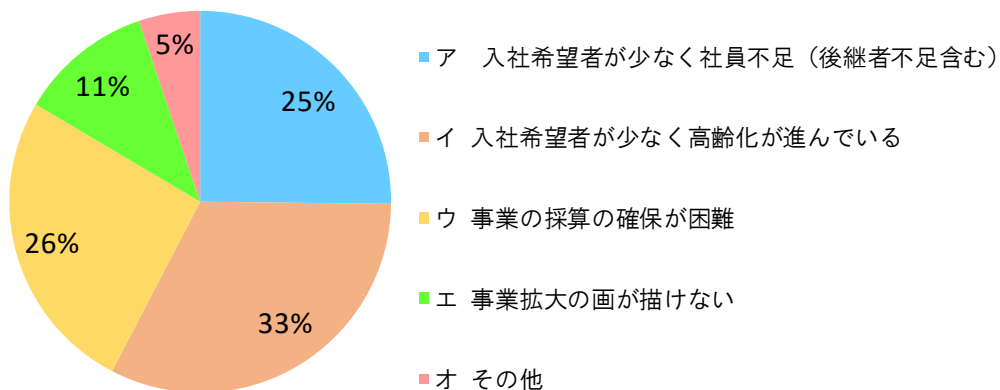
○今後の事業運営方針、会社の存続(Q8、9)

- ・ 当面現状維持 (66%)
- ・ 事業拡大 (18%)
- ・ 事業の縮小、廃業 (12%)

入社希望者が少なく高齢化が進行(33%)

事業の採算の確保が困難(26%)

入社希望者が少なく社員不足(25%)



水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【会社の現状】

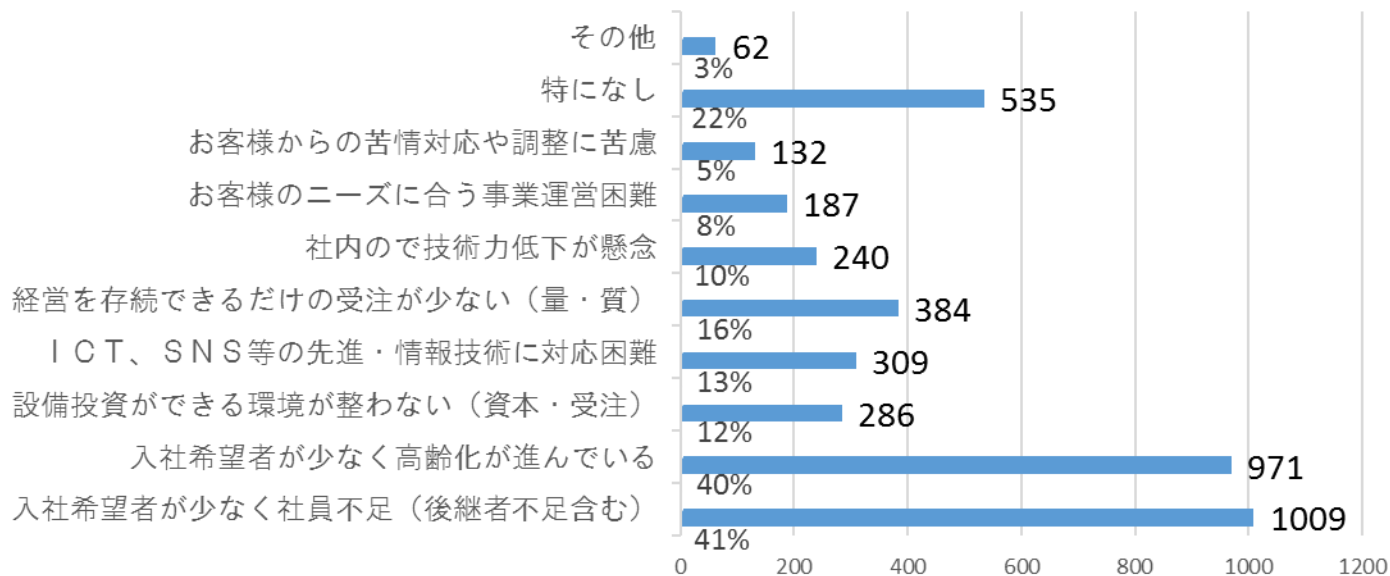
○課題(Q10)

- ・入社希望者が少なく社員不足(事業者の41%)
- ・入社希望者が少なく高齢化が進行(40%)
- ・「特になし」(22%)

(複数回答)

事業者数：2452

回答総数：4115



※グラフのパーセンテージは事業者数に対する回答事業者数の割合

水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【技術力（現場対応力）の確保・向上】

○現状(Q11、12)

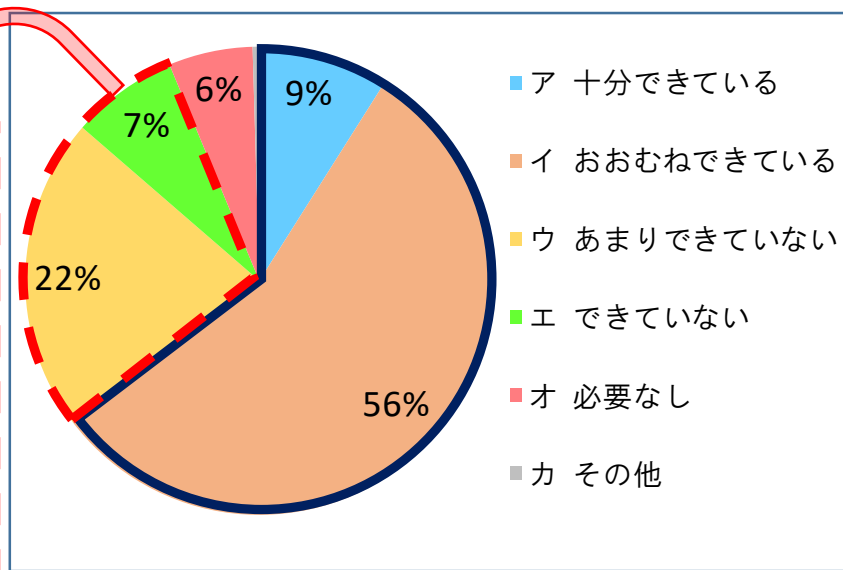
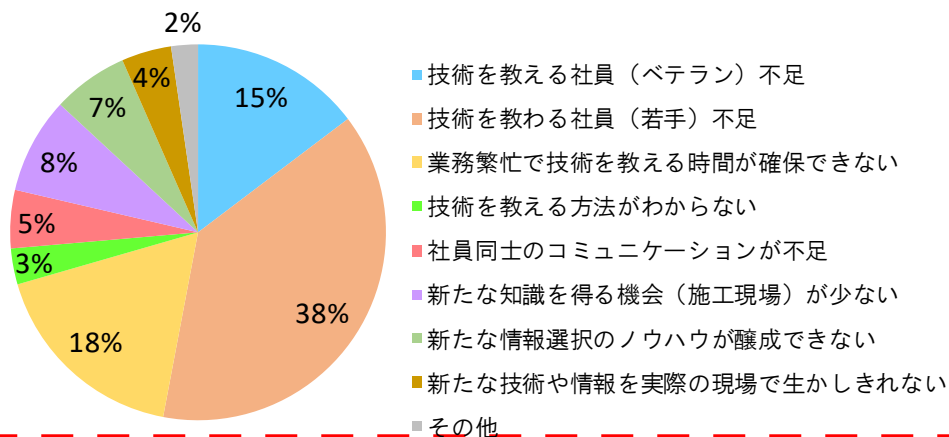
・「できている」(65%)

・「できていない」(29%)

技術を教わる社員（若手）不足(38%)

業務繁忙により技術を教える時間の確保が困難(18%)

技術を教える社員（ベテラン）不足(15%)



水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【技術力（現場対応力）の確保・向上】

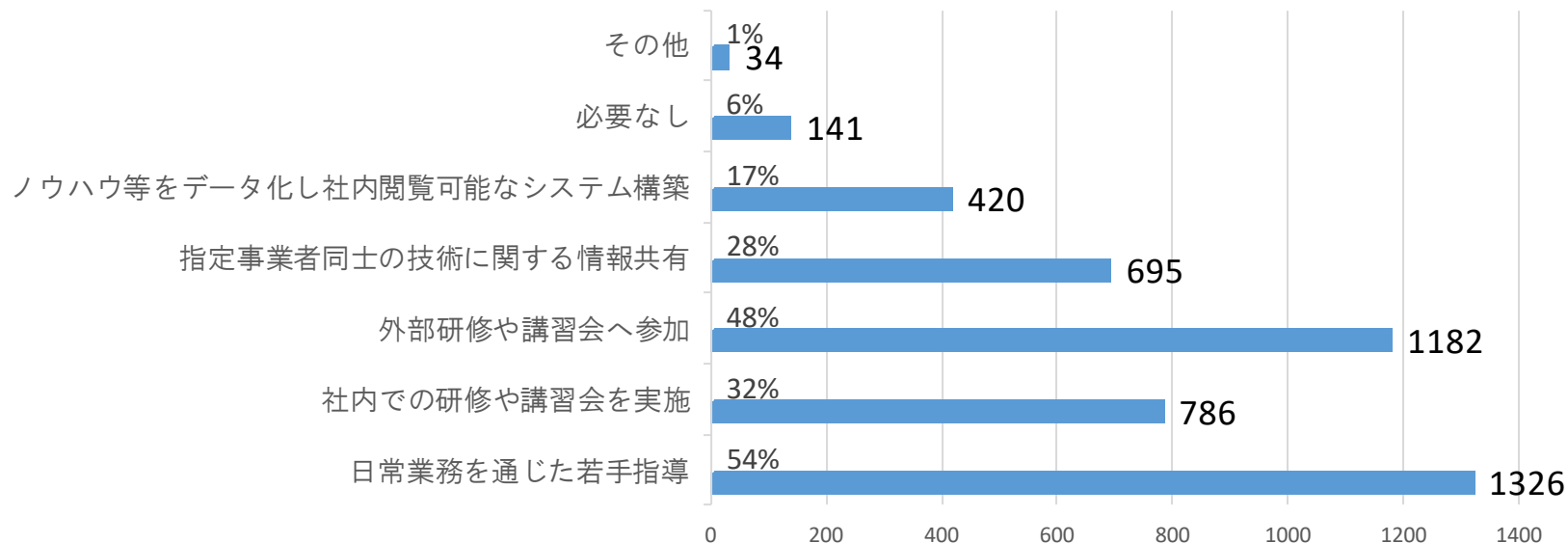
○必要な取組(Q14)

- ・日常業務を通じた若手指導（事業者の54%）
- ・外部研修、講習会への参加（48%）
- ・社内での研修や講習会の実施（32%）
- ・指定事業者同士の技術に関する情報共有（28%）

（複数回答）

事業者数：2452

回答総数：4584



※グラフのパーセンテージは事業者数に対する回答事業者数の割合

水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【技術力（現場対応力）の確保・向上】

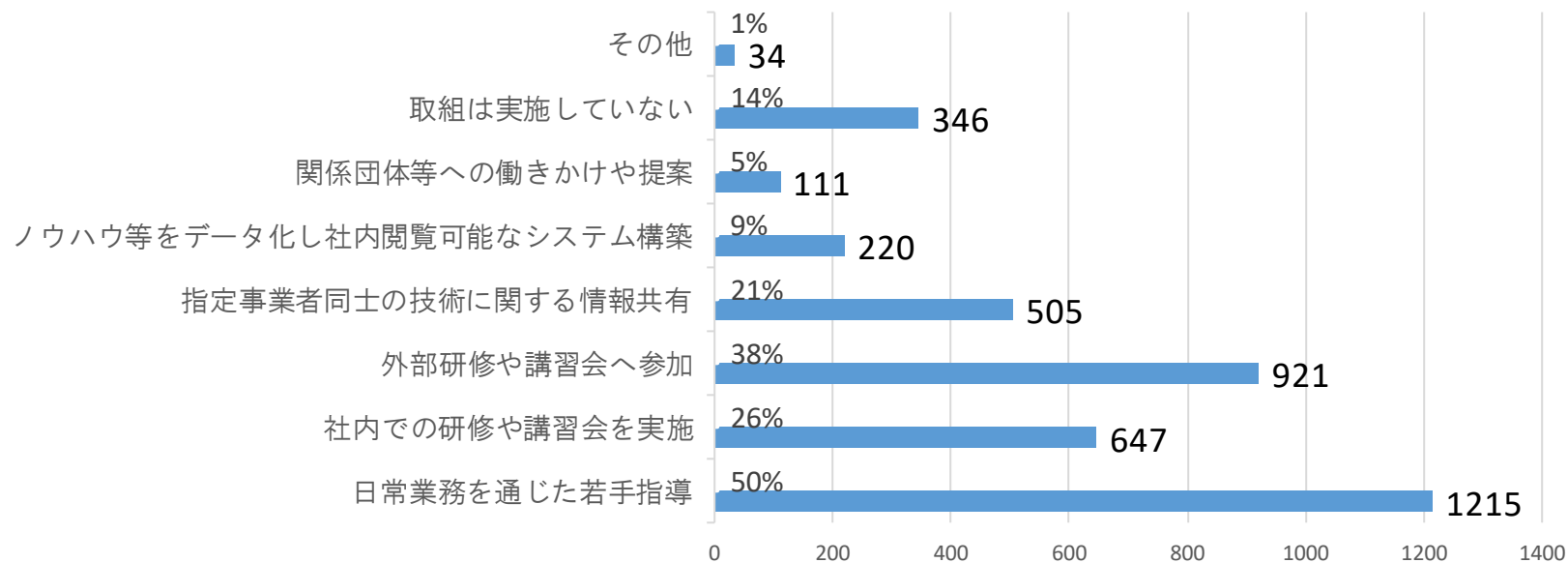
○実際の取組（Q15）

- ・日常業務を通じた若手指導（事業者の50%）
- ・外部研修や講習会への参加（38%）
- ・社内での研修や講習会の実施（26%）
- ・指定事業者同士の技術に関する情報共有（21%）

（複数回答）

事業者数：2452

回答総数：3999



※グラフのパーセンテージは事業者数に対する回答事業者数の割合

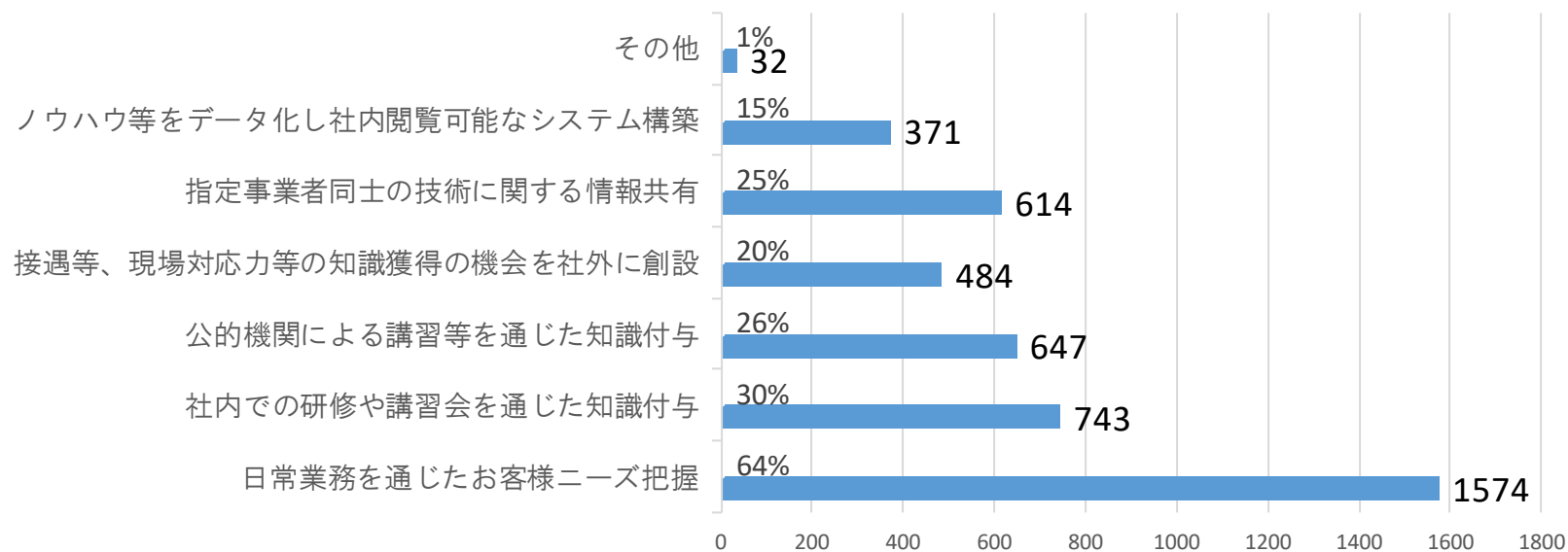
水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【技術力（現場対応力）の確保・向上】

○お客様対応力向上：必要な取組（Q13）

（複数回答）
事業者数：2452
回答総数：4465

- ・ 日常業務を通じたお客様ニーズ把握（事業者の64%）
- ・ 社内での研修や講習会を通じた知識付与（30%）
- ・ 公的機関による講習等を通じた知識付与（26%）
- ・ 指定事業者同士の技術に関する情報共有（25%）



※グラフのパーセンテージは事業者数に対する回答事業者数の割合

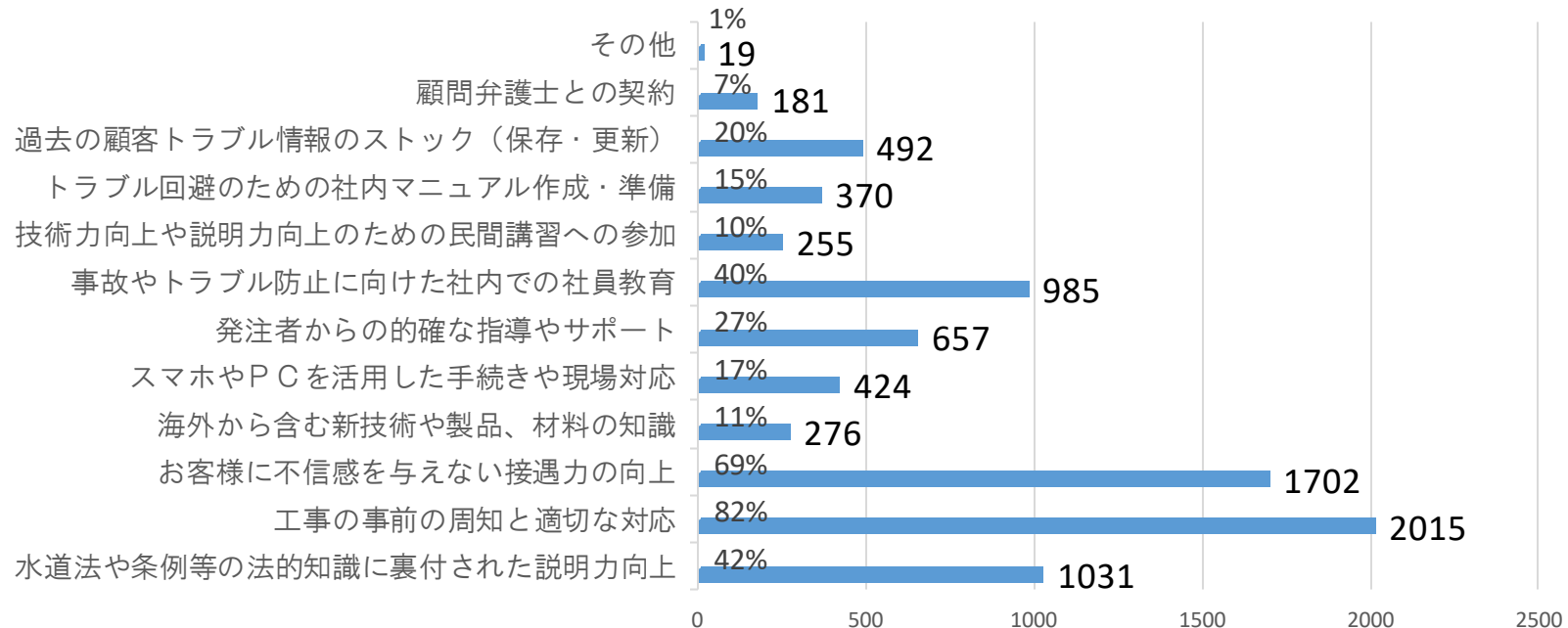
水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【技術力(現場対応力)の確保・向上】

○お客様トラブル回避：必要な取組(Q16)

- ・工事の事前の周知と適切な対応(事業者の82%)
- ・お客様に不信感を与えない接客力の向上(69%)
- ・水道法や条例等の法的知識に裏付された説明力向上(42%)
- ・事故やトラブル防止に向けた社内での社員教育(40%)

(複数回答)
 事業者数：2452
 回答総数：8407



※グラフのパーセンテージは事業者数に対する回答事業者数の割合

水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【経営の安定】

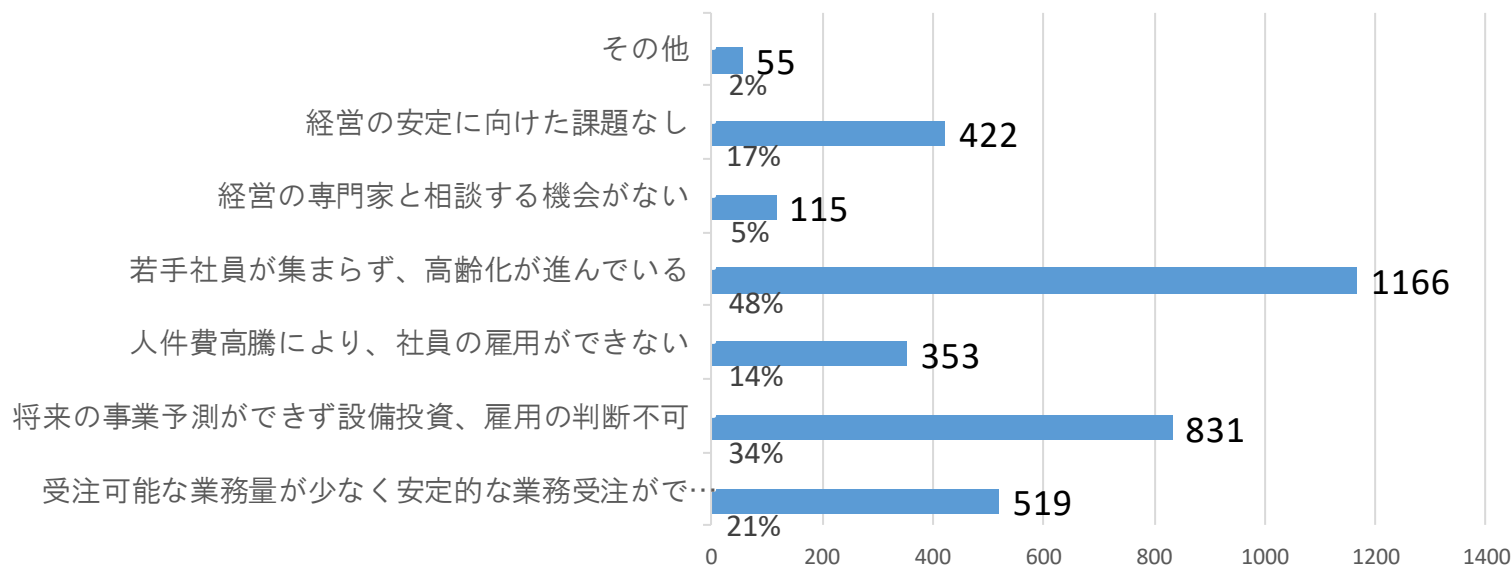
○現状と課題（Q18）

- ・若手社員不足による高齢化の進行（事業者の48%）
- ・将来の事業予測ができず、設備投資、雇用の判断不可（34%）
- ・受注可能な業務量が少なく安定的な業務受注ができない（21%）

（複数回答）

事業者数：2 4 5 2

回答総数：3 4 6 1



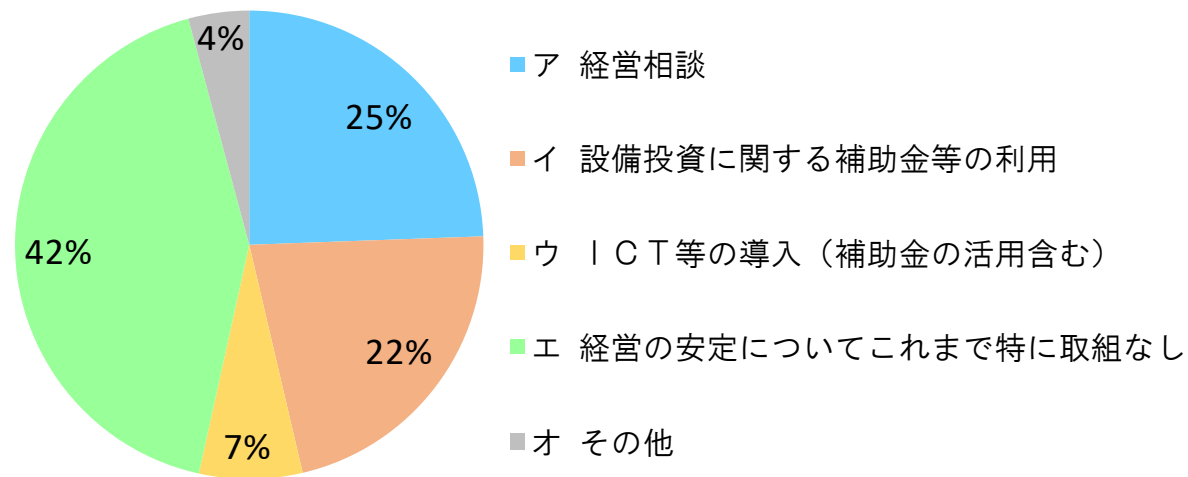
※グラフのパーセンテージは事業者数に対する回答事業者数の割合

水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【経営の安定】

○取組(Q19)

- ・「取組なし」(42%)
- ・経営相談(25%)
- ・設備投資に関する補助金等の利用(22%)



水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【局への要望】

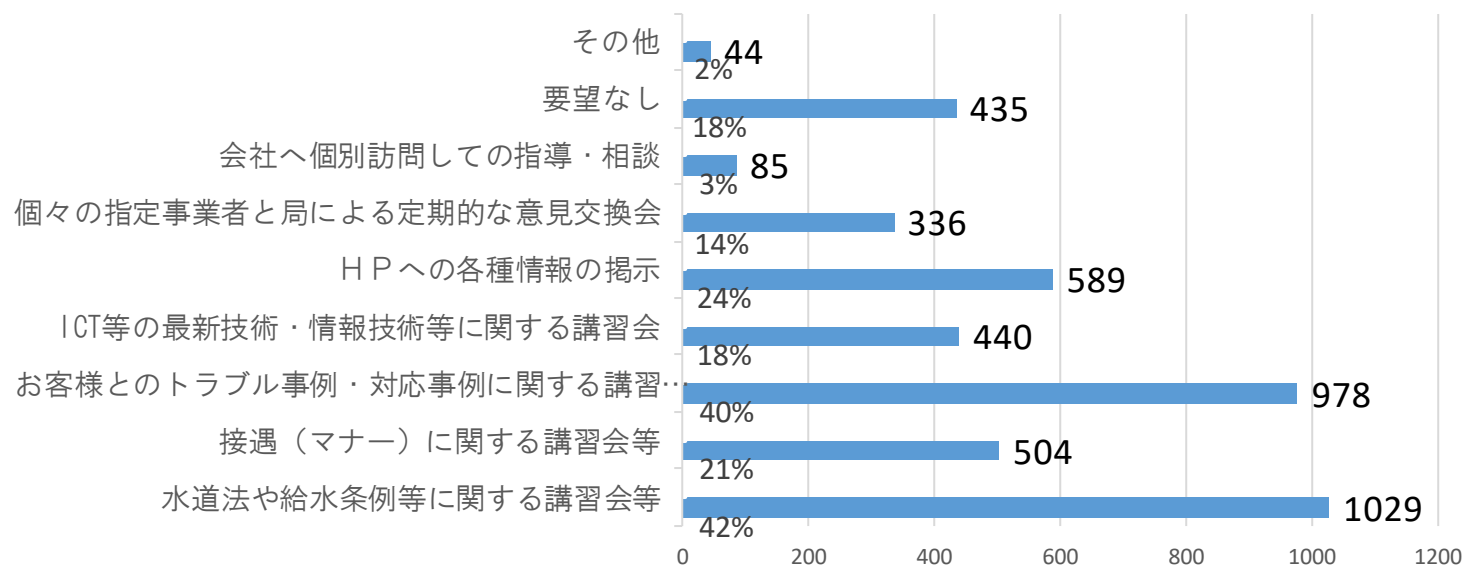
○技術力の確保・向上(Q17)

- ・水道法や条例等に関する講習会等の実施（事業者の42%）
- ・お客様とのトラブル事例・対応事例に関する講習会等の実施（40%）
- ・HPへの各種情報の提示（24%）

（複数回答）

事業者数：2452

回答総数：4440



※グラフのパーセンテージは事業者数に対する回答事業者数の割合

水道工事（給水装置工事）に関するアンケート

【局への要望】

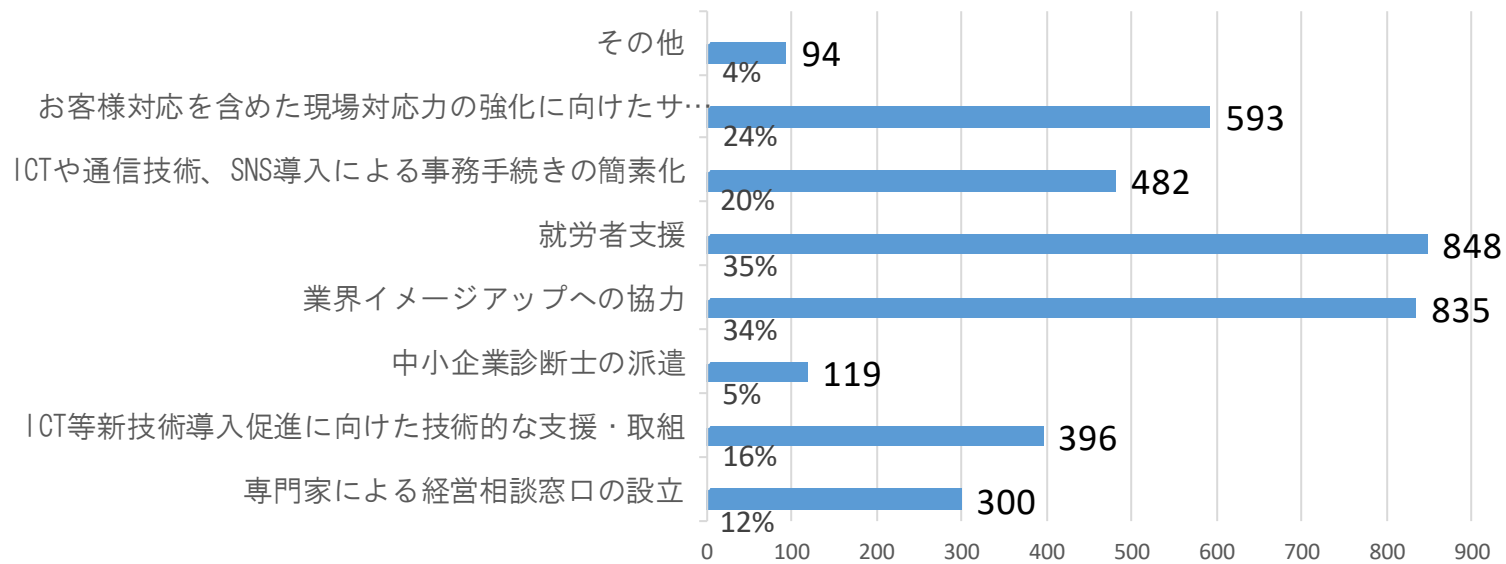
○経営の安定（Q20）

- ・就労者支援（事業者の35%）
- ・業界イメージアップへの協力（34%）
- ・お客様対応を含めた現場対応力の強化に向けたサポート（24%）

（複数回答）

事業者数：2452

回答総数：3667



※グラフのパーセンテージは事業者数に対する回答事業者数の割合